

第 96 期 第2四半期
中間報告書

平成23年4月1日 ~ 平成23年9月30日

証券コード 6436

Contents

株主の皆様へ	1
新中期経営計画	2
トップインタビュー	3
連結財務諸表（要旨）	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値＋将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成23年4月1日よりスタートした新中期経営計画に基づく新グローバル成長戦略のもと、国内外における事業領域の拡大、総合提案ビジネスの強化等に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起しに注力し、また、全社一丸となって原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当中間期の連結業績につきましては、売上高・利益ともに増収増益となりました。

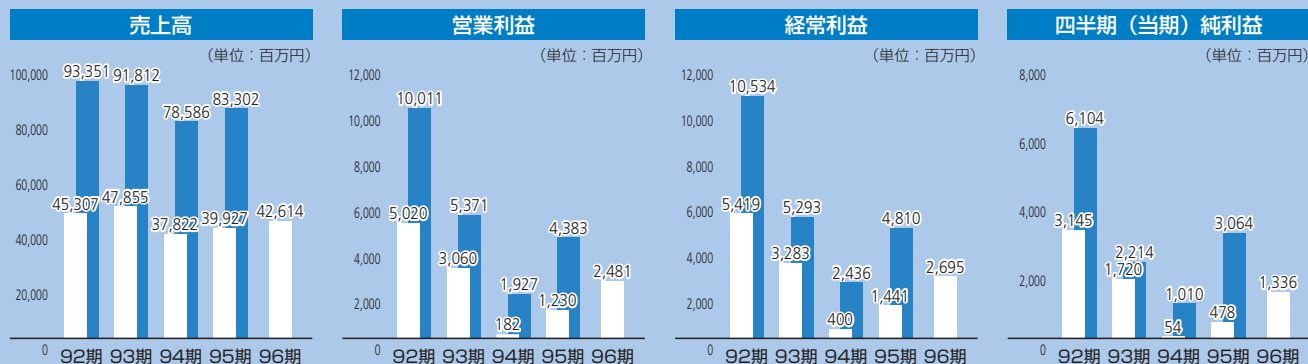
中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、1株当たり13円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 中島 泉

財務ハイライト（連結）

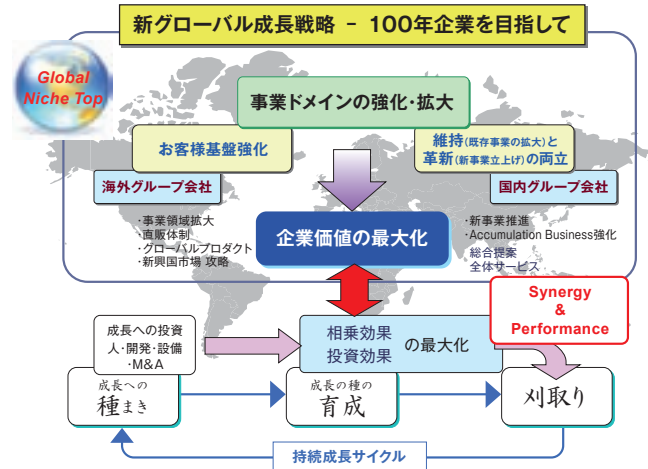


基本方針

平成23年4月よりスタートした新中期経営計画は、国内では更なる事業基盤の強化を図る一方、海外では新興国市場の攻略、ならびに海外現地法人における複数事業化展開を行うとともに、国内外のグループ会社間でのシナジー効果創出を通じて、主要5事業各々でグローバルニッチトップを目指し、企業価値の最大化を実現すべく、新グローバル成長戦略を推進します。

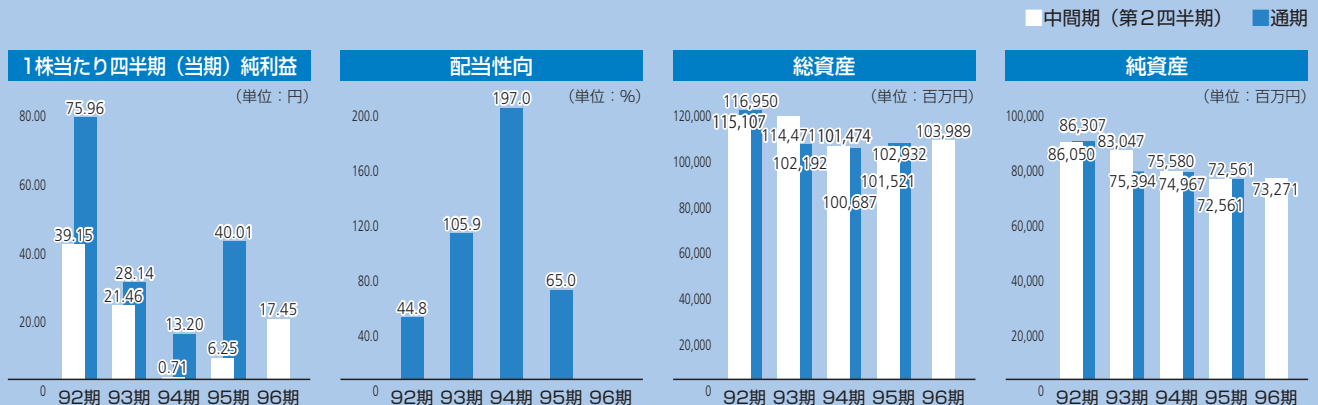
数値計画

本計画の最終年度である平成26年3月期に売上高1,030億円、営業利益100億円の業績達成を目指してまいります。



(単位：百万円)

	平成24年3月期		平成25年3月期		平成26年3月期	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	88,700	6.5%	95,300	7.4%	103,000	8.1%
営業利益	5,800	32.3%	7,700	32.8%	10,000	29.9%
営業利益率	6.5%	-	8.1%	-	9.7%	-
経常利益	6,200	28.9%	8,000	29.0%	10,300	28.8%
当期純利益	3,100	1.2%	4,200	35.5%	5,700	35.7%



第96期第2四半期中間報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

Q 当中間期の連結業績はいかがでしたか？

A 当中間期におけるわが国の経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの制約がほぼ解消される中、企業部門においては、生産活動の回復は継続しているものの、震災や円高の影響から企業収益は悪化しており、また、家計部門においては、雇用情勢は依然として厳しく、全体として景気回復の足取りが鈍化しているものと思われま

す。このような状況下、2012年3月期第2四半期連結売上高は、426億14百万円（前年同期比6.7%増）となりました。事業部門別では、情報システム事業は、北米、欧州の情報システム会社の業績が堅調に推移し、前年同期比2.7%増、パーキングシステム事業は、国内需要の掘り起こしにより伸長したほか、韓国が好調を維持し、前年同期比9.9%増、環境システム事業は、日系企業の海外進出案件の需要を捉えて伸長し、前年同期比11.1%増となりました。

損益につきましては、増収効果および販売費及び一般管理費抑制により、営業利益は24億81百万円（前年同期比101.7%増）となり、また経常利益は26億95百万円（前年同期比86.9%増）、四半期純利益は13億36百万円（前年同期比179.1%増）となりました。

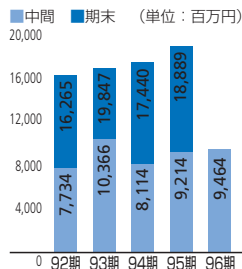
Q 2012年3月期の通期業績予想についてお聞かせください

A 当中間期の業績および足元の需要環境を踏まえて、2012年3月期の業績予想は、今年5月9日に発表した期初計画を据え置いております。国内市場では、情報システム事業は、新製品、新サービスの投入により売上拡大を図り、パーキングシステム事業、環境システム事業の需要は堅調に推移するものと予想しております。

また、海外市場では、北米、欧州の情報システム事業、アジアの環境システム事業、パーキングシステム事業が引き続き堅調に推移することから、売上高887億円、営業利益58億円、経常利益62億円、当期純利益31億円と予想しております。

事業概況

情報システム

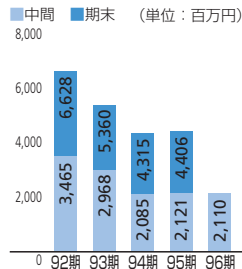


当中間期の国内実績は、前年同期に比べハードウェアは3億59百万円減収（13.7%減）、ソフトウェアは2億17百万円減収（12.5%減）、メンテ・サプライは32百万円増収（2.1%増）となりました。

海外の実績は、北米、欧州ともに順調に推移し、7億49百万円増収（前年同期比24.7%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は94億64百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

時間管理機器

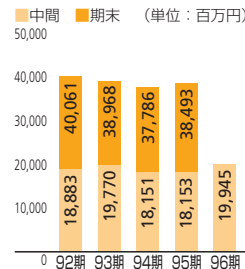


当中間期の国内実績は、前年同期に比べパソコン接続式ICカード型タイムレコーダーは堅調に推移したものの、全体では17百万円減収（1.1%減）。

海外の実績は、北米、欧州、アジアともに減収となり、76百万円減収（前年同期比10.3%減）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は21億10百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

パーキングシステム

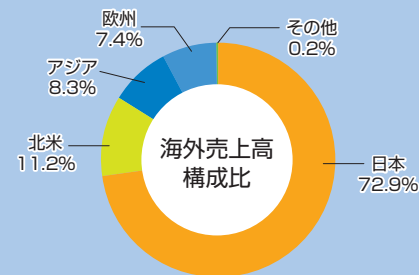
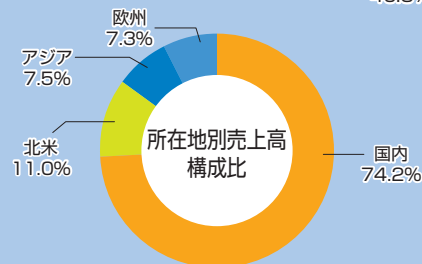
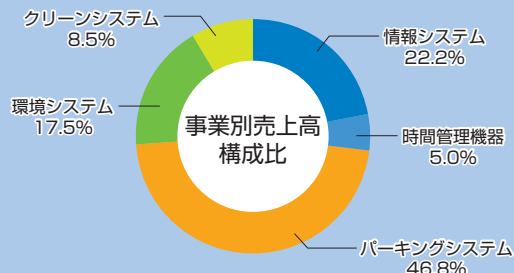


Q 新中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください

A 今年4月に策定した新中期3カ年計画は、「グローバル・ニッチトップ」、「新規事業の構築」を重要戦略課題としてスタートいたしました。現在、グローバル・ニッチトップ戦略において、新興市場の攻略としてインド・ブラジルへの事業展開を図り、世界経済の成長を牽引するアジア市場においては、現地法人が保有する経営基盤や顧客基盤を最大限活用し、また体制強化のために経営資源をシフトさせて、売上規模拡大に向け複数事業展開に取り組んでおります。また、新規事業の構築については、既存の5つの事業に加え、早い時期に第6、第7の事業の構築を目指し、経営基盤の強化拡大に向けて推進してまいります。

Q 株主様へのメッセージをお願いします

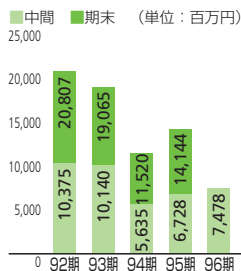
A 当社は株主の皆様への利益配分を重要な経営課題のひとつとして認識しております。連結ベースでの配当性向35%以上を基準に、また純資産配当率2.5%以上を目標として、安定配当（年間26円）プラス業績に応じた成果配分を基本方針としております。今後も皆様のご期待にお応えできる経営成績を残せるよう、より一層努力してまいります。株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



当中間期の国内実績は、前年同期に比べ駐車場・駐輪システム機器は、16億41百万円増収(26.6%増)、メンテ・サプライは26百万円減収(0.6%減)となりました。

海外の実績は、北米、欧州では減収となりましたが、アジア地域は韓国が好調を継続し、2億38百万円増収(前年同期比5.0%増)となりました。以上の結果、当事業部門の売上高は199億45百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

環境システム

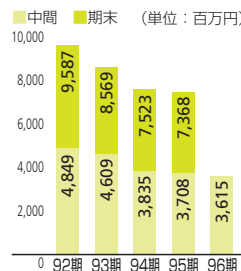


当中間期の国内実績は、前年同期に比べ、汎用機は2億33百万円増収(10.0%増)、大型システムは2億46百万円の増収(11.3%増)、メンテ・サプライは1億36百万円増収(8.5%増)となりました。

海外の実績は、アジア市場における日系企業の設備投資が堅調に推移し、2億35百万円増収(前年同期比45.9%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は74億78百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

クリーンシステム



当中間期の国内実績は、前年同期に比べ清掃機器は2百万円増収(0.2%増)、メンテ・サプライは91百万円増収(6.5%増)となりました。

海外の実績は、北米の低調が続き、93百万円減収(前年同期比10.2%減)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は36億15百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

第2四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	第95期 (H23.3.31)	第96期 (H23.9.30)		第95期 (H23.3.31)	第96期 (H23.9.30)
資産の部			負債の部		
① 流動資産	58,789	60,107	② 流動負債	24,200	23,031
固定資産	44,143	43,881	③ 固定負債	6,170	7,686
有形固定資産	22,456	22,781	負債合計	30,371	30,718
無形固定資産	9,788	9,270	純資産の部		
投資その他の資産	11,897	11,829	株主資本	81,056	81,396
資産合計	102,932	103,989	その他の包括利益累計額	△8,654	△8,297
			少数株主持分	159	172
			④ 純資産合計	72,561	73,271
			負債純資産合計	102,932	103,989

Point ① 流動資産

現金及び預金
15億80百万円増加

Point ⑤ 売上高

パーキングシステム及び環境システム事業が堅調に推移し、売上高は426億14百万円と前年同期比6.7%の増収となりました。

Point ⑥ 営業利益

増収効果、販売費及び一般管理費抑制により、営業利益は24億81百万円と同107.9%の増益となりました。

Point ⑦ 経常利益

前期に投資有価証券割当益を計上した反動があったものの、増収効果、為替差損の減少により、経常利益は26億95百万円と同107.8%の増益となりました。

第2四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	第95期 (H22.4.1~ H22.9.30)	第96期 (H23.4.1~ H23.9.30)		第95期 (H22.4.1~ H22.9.30)	第96期 (H23.4.1~ H23.9.30)
⑤ 売上高	39,927	42,614	特別利益	63	1
売上原価	22,312	23,838	特別損失	285	379
売上総利益	17,614	18,775	税金等調整前 四半期純利益	1,219	2,316
販売費及び 一般管理費	16,384	16,294	法人税等	651	962
⑥ 営業利益	1,230	2,481	少数株主損益調整前 四半期純利益	568	1,354
営業外収益	429	302	少数株主利益	89	17
営業外費用	217	88	⑧ 四半期純利益	478	1,336
⑦ 経常利益	1,441	2,695			

第2四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

Point ② 流動負債

短期借入金
15億49百万円減少

Point ③ 固定負債

長期借入金
13億45百万円増加

Point ④ 純資産

為替換算調整勘定
5億11百万円増加

Point ⑧ 四半期純利益

前期に比べ投資有価証券評価損が増加したものの、増収効果等に伴う経常増益により、四半期純利益は13億36百万円と同111.3%の増益となりました。

Point ⑨ 営業CF

税金等調整前四半期純利益
23億16百万円
減価償却費…19億81百万円

Point ⑩ 投資CF

有形固定資産の取得による支出
△4億49百万円

Point ⑪ 財務CF

配当金の支払額
△9億95百万円

	第95期 (H22.4.1~ H22.9.30)	第96期 (H23.4.1~ H23.9.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	568	1,354
その他の包括利益合計	△1,957	360
その他有価証券評価差額金	△109	△154
為替換算調整勘定	△1,836	512
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	2
四半期包括利益	△1,388	1,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,470	1,693
少数株主に係る四半期包括利益	81	21

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第95期 (H22.4.1~ H22.9.30)	第96期 (H23.4.1~ H23.9.30)
⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,101	4,209
⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,163	△1,103
⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー	632	△1,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△195	58
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,374	1,555
現金及び現金同等物の期首残高	20,932	24,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,307	26,168

時間情報事業

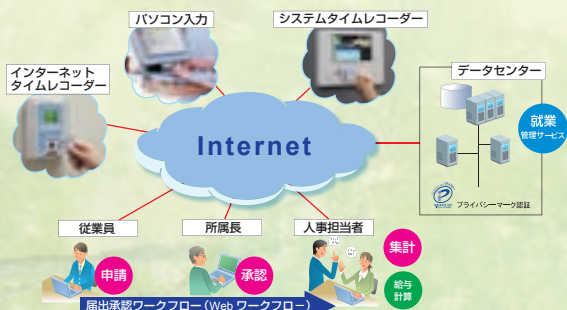
データ管理や節電対策を低コストで実現 新クラウドソリューション就業管理パッケージシステム 「TimePro-CXプレミアムサービス」スタート

震災の影響から企業がBCP（事業継続計画）の取り組みの一環として、クラウドコンピューティングサービスやホスティングサービスなどを導入する動きが高まってまいりました。

アマノでは、就業管理パッケージソフトのベストセラー「TimePro-XG」をベースに開発したクラウドサービス「TimePro-CXプレミアムサービス」を今年8月1日に新発売いたしました。

このサービスは、完全Web対応版の就業管理パッケージソフトをご購入頂くことにより、お客様のインターネット環境を介して、アマノのデータセンターおよびサーバー、その他付帯サービスを低価格でご利用頂ける全く新しいサービスです。

お客様の安全対策と節電対策を両立し、初期投資と運用コストを大幅に抑えた最適なソリューションとして需要拡大が期待されます。



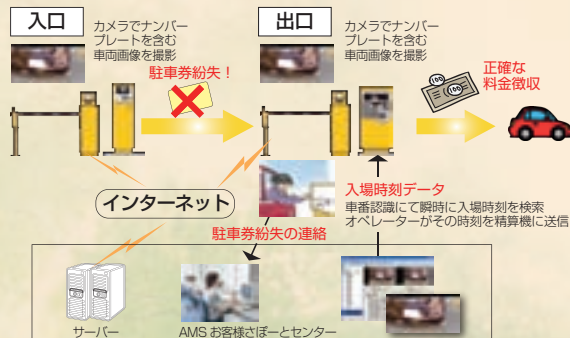
Information Systems

パーキング事業

駐車券の紛失問題を解決！ 無人駐車場向けの新サービス開始 「駐車券紛失対応サービス」

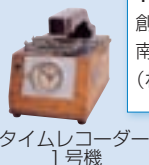
アマノと国内グループ会社アマノマネジメントサービス（以下、AMS）は、駐車場経営における収益向上提案として、利用者が駐車券を紛失した場合でも適正な駐車料金を徴収できる新サービス「駐車券紛失対応サービス」の提供を開始しました。

無人のゲート式駐車場において利用者が駐車券を紛失した場合、「紛失対応をしている間に駐車場出口で渋滞が発生する」「正確な料金徴収が行えない」ということが多々あり、トラブルへと発展したり、料金を徴収せずに出場させてしまうことで損失につながるケースもありました。「駐車券紛失対応サービス」は、駐車場システム機器とAMSお客様さぼとセンター（24時間365日稼働）をインターネット経由で繋ぎ、利用者が駐車券を紛失した場合でも迅速に対応し適正な駐車料金を徴収することができるサービスです。駐車場経営者、利用者双方にとって「安心のサービス」として注目されており、今後も拡大が期待されます。



Parking Systems

2011年、アマノは創業80周年を迎えました



1931年

創業者天野修一、東京都蒲田区南六郷に「天野製作所」創立。
(わが国最初の時刻記録機の製造)

1930年



ドレイン分離機
「リクレス」



環境事業に参入 初期の工業用クリーナー

1940年

- ・米国現地法人Amano Time Systems社を設立
- ・「アマノ株式会社」に社名変更
- ・駐車場事業に参入
- ・東京証券取引所第一部に株式上場
- ・時間情報システム分野に事業拡大
- ・細江事業所建設

1950年



設立当時の
AMANO
EUROPE,S.A.

- ・欧州ベルギー・ブラッセルに現地法人「AMANO EUROPE,S.A.」設立
- ・大阪証券取引所第一部に株式上場

1960年



就業管理システム
「アレコデータ」



駐車券発券機
発券時のカタログ

1970年

- ・清掃システム事業参入
- ・津久井事業所建設

1980年



初期の自動床面洗浄機
「パワースクラバー」

1990年



パソコン接続式タイムレコーダー
「Time P@CK」

2000年

- ・時刻配信・認証サービス事業開始
- ・国内、北米、欧州でのM&Aによる事業拡大
(武蔵電機製作所、オムロン社駐車場事業、マクガン社、ホロス마트社、アキュタイムシステムズ社)



- ・都田事業所建設
- ・アジア地域拠点拡大
- ・各事業所におけるISO認証取得
- ・パーキング受託サービス事業拡大
- ・ASP事業展開

アマノは、[時間]と[環境]の無限の可能性を目指し、豊かな社会の創造に貢献し続けます。

80th anniversary

Global Network



● TOPICS ● 活気ある躍動的な企業をめざし、更なる成長ステージへ 創立20周年記念式典開催 北米 アキュタイムシステムズ社

2010年2月から、アマングループの一員となった 北米子会社 アキュタイムシステムズ社(以下、ATS社)が、今年10月、創立20周年を迎えました。

ATS社は、米国における時間情報及び就業管理に関わるターミナル機器製造・販売のリーディングカンパニーで、欧州にも販売拠点を持ち、グローバルな事業活動を展開しています。また、国際的な大手有力企業を含む良質な顧客基盤を有するとともに、革新的で的確なソリューションを提供する会社として高い評価を得ています。

同社はアマングループにおける情報システム事業のグローバル化を牽引する中心企業の一つとして、今後はお客様の将来的なニーズを見据えて、モバイル機器や無線データ通信に対応した製品開発に取り組み、事業の拡大に努めてまいります。



Domestic Network

支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌／盛岡／秋田／仙台／山形／郡山
 関東営業本部 大宮／宇都宮／高崎／水戸／埼玉
 東京営業本部 東京／品川／新宿／立川／錦糸町／千葉／柏
 信越営業本部 長野／新潟／長岡／諏訪
 神奈川・静岡営業本部 神奈川／横浜／厚木／藤沢／沼津／静岡／浜松
 中部営業本部 名古屋／豊田／豊橋／四日市／岐阜
 北陸営業本部 金沢／富山
 近畿営業本部 大阪／京都／神戸／東大阪／堺／姫路
 中国・四国営業本部 広島／岡山／松江／山口／高松／松山／高知
 九州営業本部 福岡／北九州／熊本／鹿児島／沖縄

国内グループ会社

アマノ マネジメントサービス株式会社
 アmano マネジメントサービス株式会社
 アmano マネジメントサービス株式会社
 株式会社環境衛生研究所
 アmano 武蔵電機株式会社
 株式会社アmano エージェンシー

生産拠点

横浜事業所
 津久井事業所
 細江事業所
 都田事業所

社名 アmano株式会社 AMANO Corporation
 本社所在地 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL 045-401-1441 (代表)
 FAX 045-439-1120
 ホームページ <http://www.amano.co.jp>
 創業 1931年(昭和6年)11月3日
 設立 1945年(昭和20年)11月22日
 資本金 182億3,958万円(平成23年9月30日現在)
 従業員数 2,154名(平成23年9月30日現在)
 営業項目 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

- 情報システム事業
- 時間管理機器事業
- パーキングシステム事業
- 環境システム事業
- クリーンシステム事業
- エコロジー事業
- アウトソーシング事業
- 時刻配信・認証サービス事業

代表取締役会長	春田 田	薫泉
代表取締役社長	中島 治	彦
代表取締役専務	山口 信	行
取締役 常務執行役員	小山 弘	樹
取締役 常務執行役員	田畑 直	健
取締役 常務執行役員	白石 司	亨
取締役 執行役員	小堀 野	和
取締役 執行役員	上野 利	雄
常勤監査役	海草 野	啓
常勤監査役	草上 藤	佳
監査役(社外)	佐野 正	幹
監査役(社外)	野川 文	吾
常務執行役員	野川 文	吾
執行役員	赤木 裕	功
執行役員	金子 崎	弘
執行役員	井原 邦	守
執行役員	金子 修	彦
執行役員	大橋 爪	彦
執行役員	橋爪 彦	彦
執行役員	米澤 実	進
執行役員	生駒 実	進

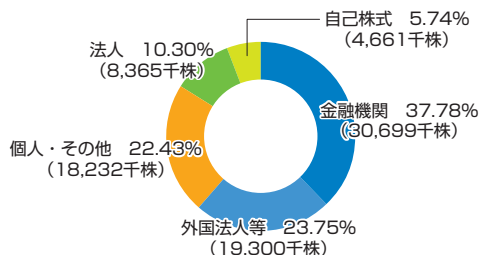
80th

株式情報

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	81,257,829株
株主数	18,470名

所有者別株式分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウントアメリカンクライアント(常任代理人香港上海銀行東京支店)	9,355	12.21%
財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92%
第一生命保険株式会社	5,006	6.53%
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,753	4.90%
日本生命保険相互会社	3,743	4.88%
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユースタックスエグゼクティブペンションファンズ(常任代理人香港上海銀行東京支店)	3,125	4.08%
東京海上日動火災保険株式会社	2,948	3.84%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,751	3.59%
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,700	3.52%

(注) 1. 当社は、自己株式4,661千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告します。
期末配当金支払基準日	毎年3月31日
中間配当金支払基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (フリーダイヤル)
公告掲載新聞	日本経済新聞

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Memo



当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.amano.co.jp/>

アマノ株式会社

本社 / 〒222-8558
横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL. (045) 401-1441 (代表)
FAX. (045) 439-1120

